

いじめ問題の調査は済んだのか

全ての学校から報告を受けた



上原 正一 議員

いじめ問題

近年教育現場で一番問題になっているのがいじめである。文部科学省は9月29日までに各学校の調査をして報告するようにとの事だが、調査は済んだか。結果はどうか。

調査結果は0件である 教育長

9月7日までに全ての学校から報告は受けた。今回の調査の内容については文部科学省で精査するため、10月中旬までは公表しないとなっている。いじめ実態について教育委員会は毎月生徒指導の月例報告を求めており、

本年4月から7月までは0件である。

「心の相談箱」の設置はできないか。

上原議員

先生方の報告で、いじめと認識していないという気持ちに不安を感じる。大津市の事件から多くの事を学べたのではないか。本町でもアンケート等は年に1〜2回しかなく、先生と話をすることもできない子供もいる。いつでも子供達の本音を聞ける「心の相談箱」の設置はできないか。

設置を検討する 教育長

他県事件を「対岸の火事」とせず最悪な状態を想定して、慎重に素早く誠意を持って組織的に対応することを学校には指導してい



25年度耐震工事予定の大崎中学校

る。早期に発見して早期に解決する手段として、「心の相談箱」設置は良い事だと思う。

学校の施設整備

耐震化整備の状況は 上原議員

小中学校の耐震化率は79・2%である。文部科学省は27年度までに全公立学校の耐震化工事を終わらせた」と発表しているが、施設の整備状況はどうなっているか。

26年度までに終わる 教育長

耐震化工事の対象となる校舎や屋内運動場が24棟あったが、23年度末までに19棟が工事を終えている。25年度3棟、26年度2棟を計画しており、国の示している27年度より1年早く達成する事になる。

車イス用のトイレ設置は 上原議員

中学校統合による工事で、車イス用のトイレも必要と思う。この機会に造った方が経費減につながると思うがどうか。

必要最低限の設備は意義がある 教育長

必要最低限のバリアフリー化や身障者用トイレは、健常者であっても不慮の事故など、一定期間設備が必要になる事も考えられる。設計の段階で、既に取り組んでいる。

全国学力テスト

学力テストの参加状況と結果は 上原議員

教育の基本は学力だと思ふ。今回文部科学省から30%の学校が抽出され学力テストが行われた。他の学校はどれだけ参加したのか、結果は公表できないか。

全校参加している 教育長

全校参加した学力テストは、小学校は全国並みで良かったが、中学校は全科目で国・県を下回った。現段階では公表できないが、いづれ公表したい。

教職員に無理はないのか 上原議員

今年から法律が一部改正され、学校の裁量で学級編制することが可能になった。大崎中の生徒80人は、2クラスのはずが3クラスに編制された。少人数の

クラスは賛成だが、先生方に無理をさせていないか。

無理な状況ではない 教育長

クラスが増えた事で、教員1人当たりの担当時間数は増えるが、それほど無理な状況ではない。

学力向上の考えは 上原議員

学力向上対策について、今後どう考えていくか。

地道に努力していく 教育長

教育に対しても指導力の向上という「大崎ティーチングポイント」を示して、学校に徹底させようとしている。授業の最後の所でもう1回復習させて定着を図るという基本的な事もやっていく。町P連と連携を取りながら保護者の意識改革を図り、教師の指導改善とともに両軸にして地道に努力していく。